

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	里山振興室
職	室長
氏名	西川 透

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
	豊かな里山里海を未来に引き継ぎ、持続可能な形で積極的に利用するため、里山に新たな価値を創造することで、地域社会を維持し、生物多様性の保全につなげていく「元気な里山里海づくり」を推進する。



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
	<p>①世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとする多様な地域資源を活用した生業づくりを支援する。</p> <p>②スローツーリズムの取組み等により人を呼び込む農山漁村づくりを推進する。</p> <p>③農山漁村の多面的機能の発揮と安全・安心な地域づくりを推進する。</p>

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
	①里山振興ファンド採択件数(年間)	19 件	27 年度	26 件	37 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
	②農家民宿の年間利用者数	15,209 人	27 年度	20,000 人	37 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
	③捕獲イノシシのジビエ利活用率	9 %	27 年度	10 %	37 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
	③中山間地域等直接支払交付対象面積	4,752 ha	27 年度	5,000 ha	28 年度	
	③農地維持支払取組面積	24,656 ha	27 年度	24,824 ha	30 年度	
	③環境保全型農業支援対策費取組面積	1,322 ha	27 年度	945 ha	28 年度	



28年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①いしかわの元気な里山里海づくり	多様な土地利用による生業づくりと、元気な里山里海集落づくりを強化するとともに、世界農業遺産の魅力向上と農林水産業におけるメリットの最大化、新たな里山ブランドの開発に取り組む。
②石川型スローツーリズムの推進	「石川型スローツーリズム」の推進に向けた具体的方策を検討する組織を立ち上げるとともに、意欲のある地域におけるモデル的な取り組みを支援する。
③いしかわジビエの利用推進	捕獲されたイノシシ等のジビエとしての利活用を促進するとともに、里山ブランド「いしかわジビエ」としての普及を図る。
③農業・農村が持つ多面的機能の維持・発揮	中山間地域等の条件不利地域(傾斜地等)と平地とのコスト差(生産費)を支援する。
	多面的機能を支える共同活動及び地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る共同活動を支援する。
	環境保全効果の高い営農活動を行うことに伴う追加的コストを支援する。